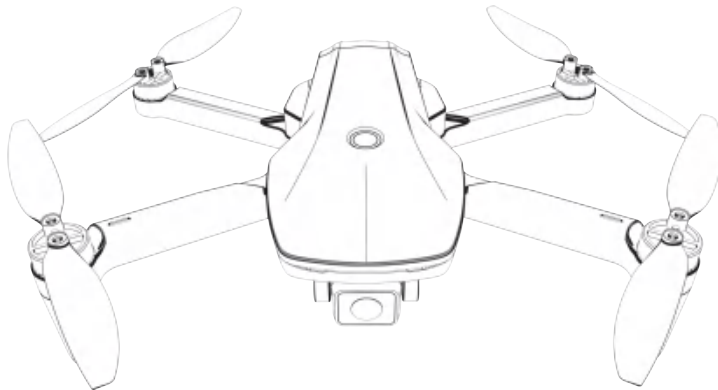


取扱説明書


**GBK
UK
USA**

WARNING choking hazard
not for children under 3 years due
to small parts included.

**ESP
ES**

PELIGRO de asfixia:
No es para niños menores de 3
años debido a las piezas
pequeñas incluidas.

**DEU
DE**

ERSTICKUNGSGEFÄHR :
Nicht für Kinder unter 3 Jahren
geeignet, da Kleinteile enthalten sind.

**ITA
IT**

Pericolo di soffocamento:
Non per bambini sotto i 3 anni a
causa di piccole parti incluse.

**FRA
FR**

risque d'étouffement
Pas pour les enfants de moins de 3
ans en raison de petites pièces incluses.

**JPN
JP**

窒息の危険
小さな部品が含まれているため、3歳未
満のお子様には適していません。


معتمداً وفقاً لمواصفات والمعايير العالمية
Tested according to international standards



تحذير: خطر الاختناق
لا ينصح للأطفال الذين تقل أعمارهم عن 3 سنوات
بإستخدام هذا المنتج لأنه يحتوي على أجزاء صغيرة
قد تسبب الاختناق.
DANGER: CHOKING HAZARD
Not recommended for children under 3 years
due to small parts included.



PRECAUCIONES:
PELIGRO DE AHOGARSE. Contiene partes pequeñas.
No recomendado para niños menores de 3 años.

SPECIFICATIONS AND COLORS OF CONTENTS MAY VARY FROM PHOTO.



This device complies with Part CE-RED of the CE Rules.
This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received,
including interference that may cause undesired operation.

MADE IN CHINA **CHN**
Fabricado en China
Fatto in Cina
Fabriqué en Chine
In China Hergestellt
中國製



RoHS R 210-128222

Brand: Eachine

Model No: EX5

Product: Drone

Batch No: 0036847

Manufacturer: Shenzhen Feijiada Technology Co., Ltd.
Address: Room 428, No.2 Jinfanghua E-commerce Industrial Park, No.450
Bulong road, Longgang dis-trict, Shenzhen City, Guangdong, China.

EC REP
Importer: Lotus NL B.V.
Address: Koningin Julianaplein 10,
1e Verd. 2595AA, The Hague, Netherlands.
E-mail: peter@lotusnl.com



重要な声明と安全ガイドライン

本製品をお選びいただきありがとうございます。より簡単に使用できるように、操作する前に本書をよくお読みいただき、将来の参照やメンテナンスのために適切に保管してください。

重要な声明

- 本製品は玩具ではありません。機械、エレクトロニクス、空気力学、高周波の通信、その他のプロフェッショナルな知識が1つの素晴らしい高密度装置に入っています。適切な組み立て、事故を避けるための試操縦が必要になります。製品所有者はリモコンを操作するために安全な方法を使用しなければなりません。不適切な取り扱い、重大な人身事故または物的損害を引き起こす可能性があります。
 - 本製品は、模型飛行機の運転経験がある人に適しています。14歳以下の人には適していません。
 - ご使用、操作、メンテナンスなどに問題がある場合は、販売店のアフターサービスにメールにて連絡してください。弊社と販売店は、不適切な使用または操作、人的傷害によって生じたいかなる損失または損害について、一切の責任を負い兼ねますので、予めご了承の上注意してください。
- 本製品には小部品が含まれているので、食べたり窒息したりする危険を避けるために、お子様の手の届かないところに保管してください。

安全上のご注意

- ラジコンドローンは危険な商品です、飛行中は人ごみやペットから離れてください。不適切な組み立てやドローンへの損傷、電子制御の不良、および不慣れた操作により、ドローンの損傷や人体への傷害など、予期せぬ事故が発生する可能性があります。操縦者は飛行の安全性に注意を払い、過失による事故の責任を理解する必要があります。
- 障害物や人から離れてドローンは不確かな飛行速度と状態を持って、潜在的な危険性があります。風、雨、雷の中を避けながら、群衆、高層ビル、高電圧の送電線などから離れて飛行してください。ドローンの試運転と設置は、指示に厳密に従っている必要があります。
- 人間とドローンとの間の距離を注意して12メートルに維持する必要があります。飛行と着陸時、ドローンが頭、顔や体を打つことを避けてください。
- 湿った環境から遠ざけるドローンの内部は多くの洗練された電子部品と機械部品で構成されています。そのため、機械や電子部品の故障による事故を防ぐために、ドローンが濡れたり湿ったりしないようにする必要があります。メンテナンス中にきれいな布で表面の汚れを拭いてください。
- 経験豊富な操縦者による指導制御スキルは、学習の初期段階では一定の困難を伴います。一人で飛行するの避けるようにしてください。経験豊富な操縦者によって導かれる必要があります。
- 本製品を正しく使用してください。飛行の安全性を確保するためにオリジナルの部品でドローンを修理してください。本製品の機能が許す範囲内で操作してください。安全法以外の違法な目的には使用できません。
- 安全な操作1. ドローンは、体調が良く飛行技能のある人だけが操作してください。疲労、トランスまたは不適切な操作は予期せぬリスクを増大させます。2. 耳の近くでは使用しないでください。誤用すると聴覚障害を引き起こす可能性があります。
- 高速回転部品から遠ざけるドローンのモーターが高速で回転している際、怪我や損傷を避けるために、操縦者、周囲の人や物をモーターから遠ざけてください。
- 熱から遠ざけるドローンは金属、繊維、プラスチック、電子部品、その他の材料で構成されているので、ドローンが変形しないように、熱源から遠ざけ、太陽や高温を避けてください。
- 環境要件勝手に本製品を廃棄すると、環境を汚染する可能性があります。現地の法規制に従って適切に廃棄してください。

製品の説明

パッケージ内容

パッケージリスト

EX5ドローン*1 ブレードセット*2 USB充電ケーブル*1 ドライバー*1 リモコン*1 バッテリー*1

仕様

ホイールベース: 230mm 全高: 52mm 総重量: 約225g
バッテリー: 7.4V 2200mAh 25C 充電時間: 約4時間 飛行時間: 約25~30分

製品の組み立て

ブレードの取り付け/取り外し

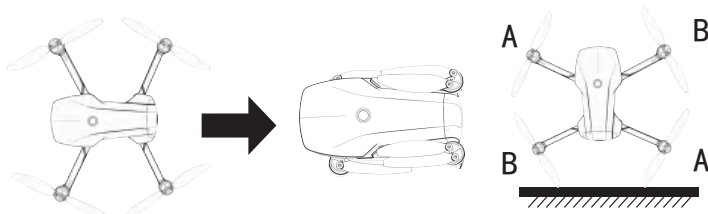
ブレードの取り付け:

1. Aの付いたブレードをアームAの位置に取り付け、ネジをロックして所定の位置に固定します。
2. Bの付いたブレードをアームBの位置に取り付け、ネジをロックして所定の位置に固定します。

取り外し:

反時計回りに回してブレードのネジを外し、ブレードを取り外してください。

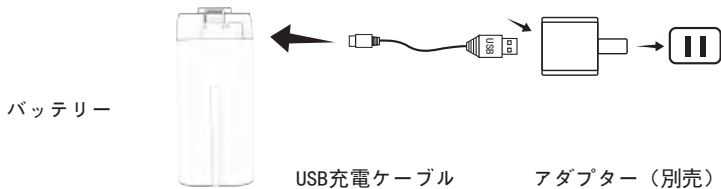
! ヒント: 下図の順番でドローンを折りたたんでください。写真のようにブレードを取り付けてください。ブレードはA部とB部に分かれていますので、回転方向に注意してください。



- !**
- AとBのブレードが正しい位置に取り付けられていることを確認してください。ブレードを正しく取り付けないと、離陸できません。
 - ブレードが細いので、取り付け時に誤って傷を付けないように注意してください。万一傷を付けた場合、当社では一切の責任を負い兼ねますので、予めご了承してください。
 - 弊社提供の純正ブレードを使用してください。
 - ブレードは消耗品です。必要に応じて、別途購入してください。

ドローン用バッテリーを充電する

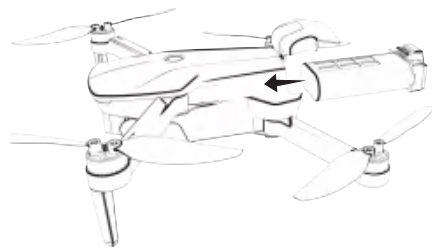
ドローンからバッテリーを引き抜き、USBをアダプター（別売）とバッテリーに挿入します。USBインジケーターが緑に点滅し、充電が始まります。充電が完了すると、赤と緑のランプが点灯になり、充電時間は約240分です。



- !** 警告:
- 火災を防ぐため、カーペットなど可燃性物質の上でバッテリーを充電しないでください。不適切な充電が原因で発生した怪我や損害について、弊社は一切の責任を負い兼ねますので、予めご了承の上注意してください。
 - プラグを正しい向きで挿入してください。逆挿入しないでください。
 - 充電には5Vの1-2Aアダプターを使用することをお勧めします。
- 充電にコンピューターのUSBポートを使用することはお勧めしません。

ドローン用バッテリーの取り付け

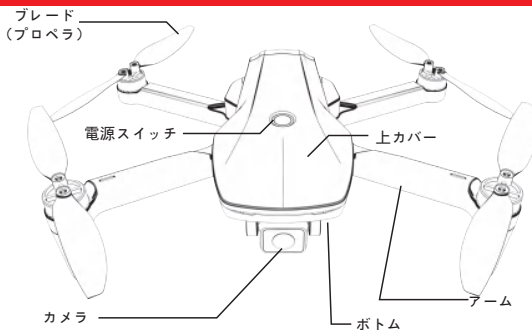
バッテリーをドローンのバッテリースロットに押し込み、バッテリーが完全に固定されます。バッテリーが装着されていることを確認してください。



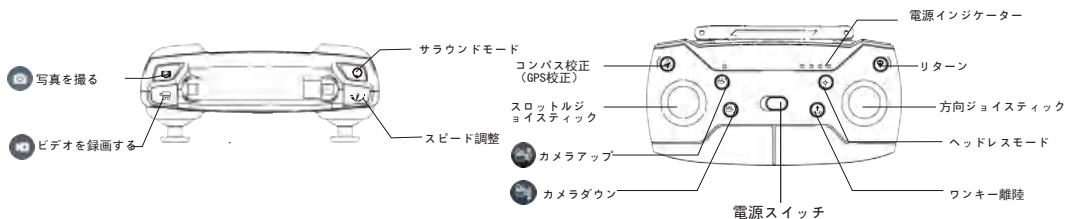
警告: バッテリーがしっかりとロックされていないと、ドローンの電源が切れ、誤って落下する可能性があります。

- 充電式バッテリーを充電する際、お子様の手の届かないところに保管し、大人の監督下で充電してください。可燃物から遠ざけてください。可視範囲でバッテリーを充電してください。部屋に入がないときは充電しないでください。
- 電池をショートさせたり、絞ったりしないでください。
- 電源端子ポートはドローンから外さないでください。バッテリーをショートさせたり、分解したり、火の中に入れてたりしないでください。バッテリーを高温の場所（火の中や装置の近くの電熱など）に置かないでください。
- バッテリーは推奨充電器でしか充電できません。バッテリーと充電器は濡れません。
- ドローンは、きれいな布で拭いてバッテリーを引き抜き、清潔する前に充電器から外します。充電器のワイヤ、プラグ、ハウジングなどを定期的に点検してください。部品が損傷している場合は、修理されるまで使用することをやめてください。
- 充電器はおもちゃではありません。充電器は屋内でのみ使用できます。
- 飛行後のバッテリーは保管する前に充電する必要があります。バッテリーを使用しない場合は、バッテリーの過放電やバッテリーの永久損傷を防ぐために、少なくとも3ヶ月に1回はバッテリーを充電することをお勧めします。

ドローン各部の名称

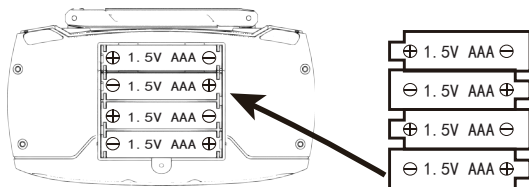


リモコン各部の機能



リモコンの電池を入れる

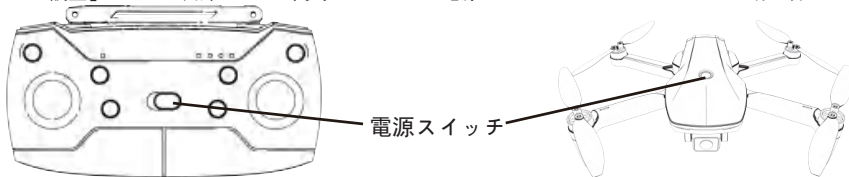
リモコンの電池カバーを開けて、表示されているプラスとマイナスの端子に従って、4本の単四電池を正しく入れてから、電池カバーを閉めます。



- リモコンには、単4形乾電池または単4形充電式電池を4本使用します。（含まれていません）
- 電池の取り付けや交換をする際、電池の極性に注意してください。
- 非充電式電池は充電できません。
- 異なる種類の電池や新しい電池と古い電池を混ぜないでください。
- 使用済み電池は時間内に取り出され、廃棄された電池は正しく捨ててください。
- 長期間使用しない場合は、電池の液漏れによる製品の損傷を防ぐため、電池を取り外してください。

リモコンとドローンのペアリング

1. ドローンにバッテリーを入れます。ドローンを水平な地面に置いてください。ドローンの電源ボタンを2秒間押しして電源を入れます。ドローンのインジケータライトが速く点滅し、次にゆっくりと点滅します。
 2. リモコンの電源スイッチをオンにし、ペアリングが完了したら、リモコンのインジケータライトが点灯し、ドローンのフロントインジケータライトも明るくなります。
- チップ：「スピード調整」ボタンを長押し、その同時にリモコンの電源スイッチをオンにし、モード1に切り替えます。



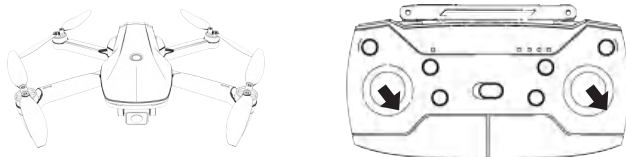
- ドローンが他のリモコンとペアリングしていないければ、ペアリングが成功する限り、再度ペアリングする必要はありません。
- リモコンがドローンとペアリングしている際、他の設備が同時にペアリングしていないことを確認してください。そうしないと、失敗する可能性があります。

ドローン初期化検出

ペアリング手順が終了した後、ドローンは自動的に初期化検出を開始します。ドローンが静止面で初期化検出を完了するには約8秒かかります。そして、ドローンはジャイロ校正を開始します。

ジャイロ校正

ペアリングが成功したら、下図に示すように、ドローンを水平な地面に置き、左と右のジョイスティックを同時に右下45°に倒します。その後、ドローンのフロントとリアのインジケータライトが急速に点滅し、ジャイロスコープが調整され、インジケータライトが点滅から点灯になると、ジャイロ校正が完了しました。





- ジャイロ校正手順を実行する際、ドローンを必ず平らな場所に置いてください。そうしないと、ドローンのバランスが取れなくなります。
- ジャイロスコープは工場出荷時すでに校正されたので、お客様は校正する必要はありません。この操作は、初期化を終了できない場合にのみ実行されます。

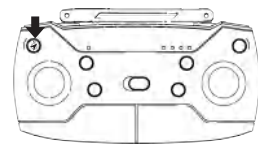
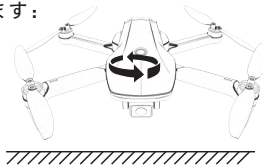
コンパス校正

1. ドローンが離陸する前に、必ず毎回コンパス校正を実行する必要があります。そうしないと、ドローンが正常に飛行できません。
2. ドローンがリモコンと正常にペアリングし、初期化検出を完了した後、コンパス校正を開始できます。

コンパス校正は2つのステップに分けられています：

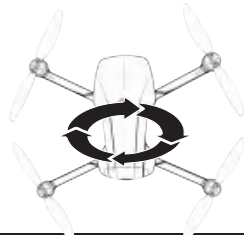
ステップ1：水平校正

コンパス校正ボタンを押します。次に、インジケータライトが点灯するまで、下図のようにドローンを手で約3回反時計回りに回転させます。水平校正は完了です。



ステップ2：垂直校正

ドローンのフロントライトが点灯するまで、下図に示すように、ドローンを直立させて手で時計回りに約3回転させます。コンパス校正は完了です。



注意：校正中、地面とドローンとの間の最良の距離は1メートル以上であるべきです。



●マグネタイト鉱山、駐車場、鋼鉄およびコンクリートの基礎建物など、強い磁場の中でドローンを校正しないでください。

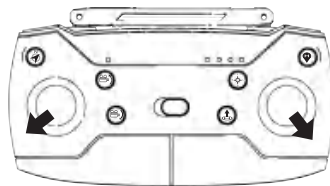


●校正を行う際、カギ、携帯電話などの強磁性体を携帯しないでください。

●大きな金属片の近くで校正を実行しないでください。

衛星信号を検索する：コンパス校正手順が完了した後、ドローンを水平面に置くと、自動的に衛星信号を検索し、ドローンのリアライトはゆっくりと点滅から点灯に変わり、そしてリモコンが「ディ」の音を発すると、衛星信号の探索手順は完了です。

左レバーを45° 左下に、右レバーを45° 右下に同時に倒すとドローンのロックが解除され、モーターが回転します。スロットルジョイスティックを上倒すと、ドローンは離陸します。



ヒント：ドローンが広い場所で飛行し、離陸前に衛星信号が星7つ以上であることを確認してください。

アプリのインストール手順

ステップ1: 以下のQRコードをスキャンして、アプリEACHINE PROをダウンロードしてください。



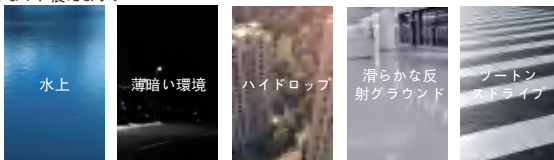
ステップ2: 以下の手順に従って、ドローンをモバイルデバイスに接続します。

- ①ドローンの電源をオンにします。
- ②モバイルデバイスのWLAN設定に移動し、wifi名「WiFi-2.4G4K-GPS-EX5-XXXXXX」を検索します。
- ③モバイルデバイスを無線LAN経由でドローンに接続します。
- ④EACHINE PROアプリを起動すると、モバイルデバイスからドローンを制御できます。

チップ:

一度に1つのモバイルデバイスのみがwifi経由でドローンに接続できます

注意: 以下の環境でドローンが飛行している場合、下のカメラのオプティカルフローポジショニング機能がよくありません。ホバリングが不安定になり、ドローンがスムーズに飛行できなくなり、震えます。



ドローンが室内を飛行して衛星信号を受信できない場合、ドローンは自動的にオプティカルフローモードを使用します。ドローンが屋外を飛行して衛星信号を受信できる場合、ドローンはGPSモードを使用します。

1.1 アプリ画面機能の紹介



推奨されるモバイルデバイスのモデルと構成

IOS

モデル構成	推奨モデル	最適な構成
モデル	iPhone 6以降のモデル	iPhone 7以降のモデル
システムのバージョン	iOS 8.0 以降のシステム	iOS 9.0 以降のシステム

Android

モデル構成	推奨モデル	最適な構成
CPU モデル	Snapdragon 630 以降のモデル Samsung Exynos 7420以降のモデル Helio X25 以降のモデル Kirin 950 以降のモデル	Snapdragon 635以降のモデル Samsung Exynos 8895以降のモデル Helio X30 以降のモデル Kirin 970以降のモデル
システムのバージョン	iOS 5.0 以降のシステム	iOS8.0 以降のシステム
メモリー容量	3GB以上	6GB以上
CPU使用率	使用率25%以下	使用率10%以下

1.2 飛行記録インターフェース

ドローンの飛行パラメータを記録し、タップ、地図に切り替えることができます。ルートに応じてドローンの最終位置を確認できます。

すべて選択		飛行記録			
時間	飛行時間	最大飛行距離	最大飛行高度	最高の持ち上げる速度	最大速度
2020-06-16 11:45:38	5分6秒	20.5m	21.2m	3.4m/s	1.0m/s

1.3 ジェスチャー認識

ドローンのカメラに向かって、次のジェスチャーにより、ドローンが自動的に写真を撮ったり、ビデオを録画したりできます。



Vジェスチャーで写真を撮る

ドローンのカメラの約2メートルの前で、片手を上げてVジェスチャーを行います。ドローンがジェスチャーをはっきりと捉えてから、3秒カウントダウンして写真の撮影を開始します。アプリインターフェイスのカウントダウンが3秒間表示されます。



手のひらのジェスチャーでビデオを録画する

ドローンのカメラの約2メートルの前で、5本の指を閉じて片手で持ち上げます。ドローンがジェスチャーをはっきりと捉えてから、記録が開始され、ジェスチャーが再び認識されると記録が終了します（2回の認識の時間差は3秒を超える必要があります）。

チップ：
レンズが高い認識率を得ることを確実にするために

1. レンズを組んでください。
2. 明るい環境で飛行してください。
3. ジェスチャー認識操作はレンズから約2m離れた位置で行ってください。

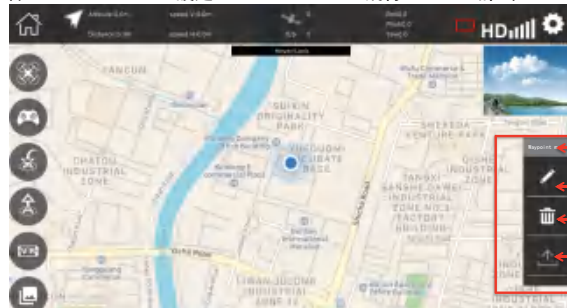
以下の場合、レンズ認識率が低下します

1. 低光量またはバックライト環境
2. Wi-Fi信号が弱い、または信号が干渉されている

1.4 飛行モードの切り替え



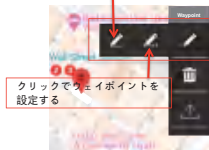
ウェイポイントモード：ドローンは設定したルートに沿って飛行します。各ウェイポイントを設定して、ドローンの飛行ルートを計画できます。



4つの飛行モードをサポート

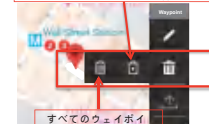
1. 自己安定モード：ドローンは自動的にオーバーし、安定した飛行、ジョイスティックを使用してドローンを制御できます。
2. ウェイポイントモード：ドローンは設定したルートに沿って飛行します。各ウェイポイントを設定して、ドローンの飛行ルートを計画できます。
3. フォロミーモード：
 - 1) ドローンが屋外を飛行しているとき、GPS信号を受信できます。GPSモードでは、ドローンはモバイルデバイスの座標を追跡します。
 - 2) ドローンが室内を飛行しているとき、ポートレートを認識し、人物を前後に追跡したり、左右に曲がったりすることもできます。
4. サラウンドモード：ドローンがリモコンを囲んで飛行します。

実線でウェイポイントを設定する



クリックでウェイポイントを設定する

単一のウェイポイントを削除する場合、このボタンをクリックして、削除したいウェイポイントをクリックして削除できます。



すべてのウェイポイントを削除する

ウェイポイントメニュー

ウェイポイントの描画

ウェイポイントの削除

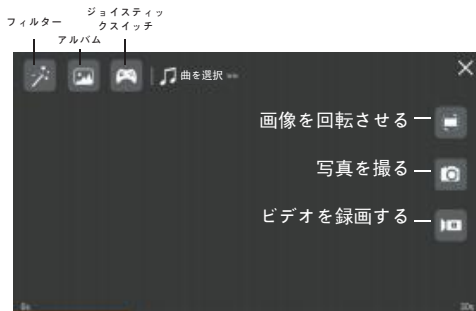
送信



ウェイポイントのパラメーター設定:
設定するウェイポイントをタップすると、設定メニューがポップアップします。
ボールを押したままスライドして、パラメーターは変更できません。

*自己安定モードを押して、ウェイポイントモードはキャンセルされます。

2. MVインターフェイスの紹介

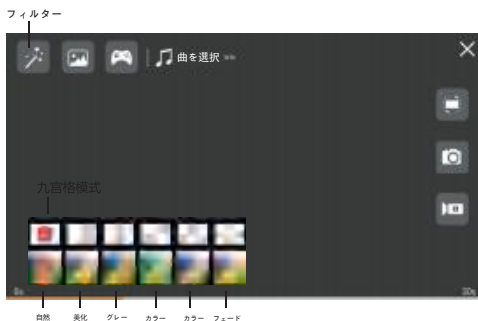


このアイコンをタップすると、MVインターフェースに入ります。このインターフェースでは、ビデオを録画して、バックグラウンドミュージックをビデオに追加できます。

画像を回転させる

このアイコンをタップすると、回転画像機能が有効になります。指で画面をスライドして、画像を回転させることができます。画面のどこかを指でダブルタップすると、画像を拡大できます

2.1 フィルターインターフェイスの紹介



このアイコンをタップすると、フィルターと九宮格の選択リストを開きます。

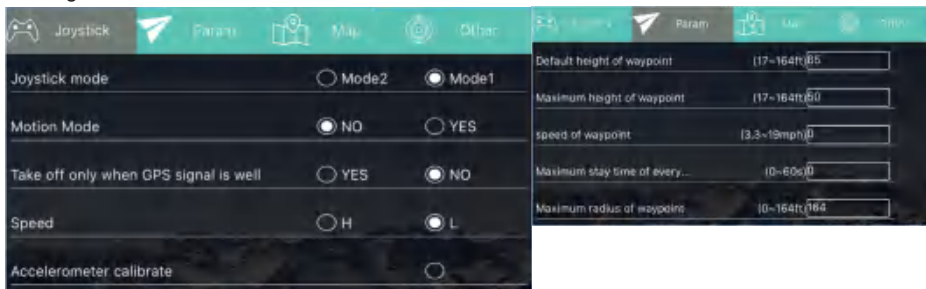
2.2 音楽選択インターフェイス

このアイコンをタップすると、動画のバックグラウンドミュージックを選択できます。



音楽リスト、選択するには左右にスライドする

Setting



モード1: 右側のジョイスティックは上昇/下降を制御する

モード2: 左側のジョイスティックは上昇/下降を制御する

加速度計の校正は、ジャイロ校正を意味します。

磁力計の校正は、コンパスの校正を意味します。

注意: ウェイポイント機能とサラウンドモードを有効にすると、ドローンは自動的にデフォルトの高さに上昇します。高度をあまり高く設定しないでください。

警告: 工場はすでにパラメーターを設定していますので、通常、自分で変更することはお勧めしません。

飛行

基本飛行


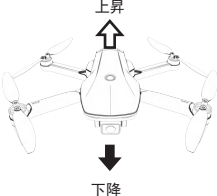
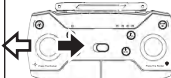
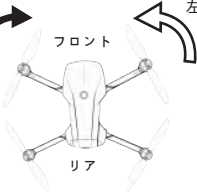

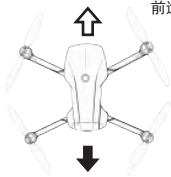
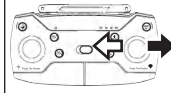
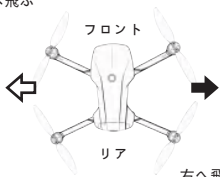
ステップ

1. リモコンとドローンをペアリングさせると、ドローンは自動的に初期化を終了します。
2. ジャイロ校正手順を実行します。
3. APPをダウンロードし、Wifiでアプリとドローンをペアリングします。
4. コンパス校正手順を実行します。ドローンのリアライトが点灯するまで、ドローンが自動的に衛星信号を検索します。通常は60~80秒かかります（信号は星7つを超えるはずです）。信号受信は完了です。
5. ドローンのロックを解除してから、スロットルジョイスティックを上倒すと、ドローンは離陸します。また、APPを使用してドローンを制御することもできます。

飛行前検査

1. リモコンとドローンのバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
2. ブレード（プロペラ）が正しく取り付けられていることを確認してください。
3. コンパス校正が成功したことを確認してください。
4. ドローンが星7つを超える衛星信号を受信したことを確認してください。
5. ドローンのロックを解除した後、モーターが正常に動作することを確認してください。

飛行を制御する（モード2の場合）

リモコン	ドローン	リモコン	ドローン
	 <p>上昇</p> <p>下降</p>		 <p>右折</p> <p>左折</p> <p>フロント</p> <p>リア</p>
	 <p>前進</p> <p>後進</p>		 <p>左へ飛ぶ</p> <p>右へ飛ぶ</p> <p>フロント</p> <p>リア</p>

飛行モード

ワンキー離陸

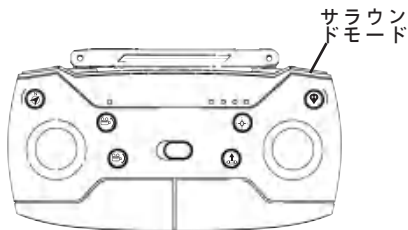
- ドローンのロックが解除されたら、ボタンを短く押すとドローンが自動的に約1.5メートルの高さまで離陸し、ホバリングします。



サラウンドモード

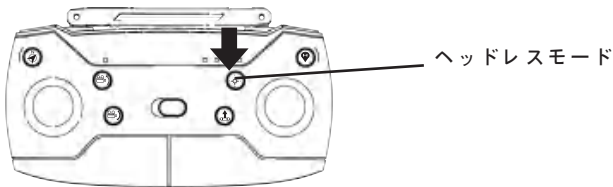
ドローンを地面から20メートル以上の高さへ飛行させます。「サラウンドモード」ボタンを押すと、ドローンのヘッドが北の方向へ移動しホバリングします。リモコンの方向ジョイスティックを左に押すと、ドローンが反時計回りに飛行します。右に押すと、ドローンが時計回りに飛行します。

ドローンは現在の位置を中心に周回します。方向ジョイスティックを押したままにすると、ドローンは現在の速度に応じて最高速の2.5M/Sまで加速します。周囲の半径を広げるために方向ジョイスティックを引き上げます。最大半径は約20メートルです。周囲の半径を減らすために方向ジョイスティックを押し下げます。最小半径は約5メートルです。サラウンドモードを終了するために、もう一度「サラウンドモード」ボタンを押してください。



ヘッドレスモード

ヘッドレスモードを使用する前に、ドローンは地面から5メートル上昇する必要があります。「ヘッドレスモード」ボタンを押してヘッドレスモードに入ります。
ドローンのリアライトが素早く点滅し、リモコンから「ディディディ」の音が鳴り、ヘッドレスモードがオンになります。このモードを終了するために、もう一度「ヘッドレスモード」ボタンを押してください。



リターン

ドローンはリターン機能付き、出発点が離陸前に成功に記録した場合、リモコンとドローンの間の信号が途絶えたとき、また「リターン」ボタンを押すとき、事故を防ぐためにドローンは自動的に出発点に戻り、着陸します。

3つの異なるリターンモードがあります：

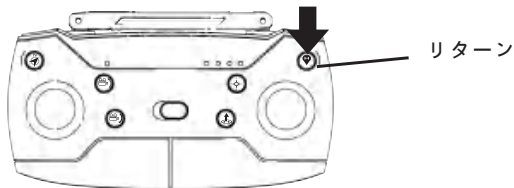
1. ワンキーリターン
2. 制御不能時リターン
3. 低電力リターン

出発点：

離陸中または飛行中に、GPS信号強度が初めて星7つ以上になった際、ドローンの現在位置が出发点として記録されます。

ワンキーリターン

GPS信号強度が星7つ以上の場合、「リターン」ボタンを押すことでドローンを戻させます。ワンキーリターンと制御不能時リターンのリターン過程は同じですが、障害物を避けるため、操縦者はジョイスティックを通してドローンを制御することができます。「リターン」ボタンを押すと、このモードを終了し、操縦者は制御を取り戻すことができます。



制御不能時リターン

GPS信号強度は星7つ以上であり、コンパスが問題なく機能し、ドローンが出发点を正常に記録し、リモコン信号が6秒以上失われた場合、飛行制御システムがドローンの制御を引き継ぎ、ドローンを制御して出発点に戻させます。
飛行中にリモコンの信号が復元されたとしても、ドローンは戻り続けるが、操縦者は「リターン」ボタンを押すことによって、飛行制御システムを退出し、ドローンの制御を取り戻せます。



注意事項：

- ドローンは自動復路飛行中に障害物を避けることはできません。
- GPS信号が良くない、またはGPS機能が働かない場合は、リターンできません。
- ドローンが衛星信号を受信せず、リモコン信号が6秒以上失われる場合、ドローンは出発点に戻れません。ドローンはゆっくりと降下し、着陸し、ロックされます。

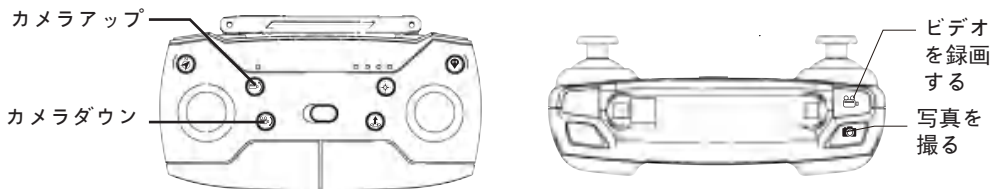
低電力リターン

- ドローンのリアライトがゆっくり点滅します。このとき、リモコンは「ディディディ…」の音を鳴らし続けます。ドローンの飛行高度が20メートル以上、またはドローンとリモコンの間の距離が20メートルを超えて飛行している限り、ドローンは自動的にリターン機能を実行し、出発点に戻ります。
- ドローンの電圧が安全な値を下回ると、ドローンは自動的に出発点に着陸します。

! ヒント：ドローンが低電力リターンの状態になる際、リモコンはリターンをキャンセルできません。

写真を撮る/ビデオを録画する

飛行中、カメラの角度は上下に調整できます。毎回リモコンの「カメラアップ」ボタンを押すと、カメラレンズは約10度上昇します。毎回リモコンの「カメラダウン」ボタンを押すと、カメラレンズは約10度降下します。飛行中、リモコンのカメラまたビデオボタンを使用して撮影できます。カメラボタンを押すと、写真1枚を撮り、リモコンは「ディ」の音を鳴らし、アプリは「カッ」の音がします。ビデオボタンを長く押すと、ビデオの録画を開始します。リモコンは「ディディ」の音を鳴らします。ビデオボタンをもう一度長く押すと、ビデオを保存し録画を終了します。



トラブルシューティング

シリアルナンバー	問題	対策
1	ドローンの電源が入った後、インジケータライトが急速に点滅し続けます。	ドローンがジャイロスコープ検出状態になっています。ドローンを静止した面または地面に置いてください。
2	ドローンが離陸した後、ホバリングできない、片側に傾けます。	ドローンを平らな場所に置き、もう一度ジャイロ校正を行ってください。
3	ドローンがひどく揺れています。	プロペラが変形しました。交換する必要があります。
4	ドローンのロックを解除できない、リアライトが早く点滅しています。	ドローンのバッテリー電圧が低すぎ、バッテリーを完全に充電してください。
5	ドローンは風の強い天候で不安定に飛んでいます。	ドローンを飛ばす前に、風がレベル4-5になるまで待ちます（そよ風）
6	ホバリングできない、周りを回り続けています。	コンパス校正失敗しました。コンパス校正をもう一度行ってください。